

教科	音楽	単元名	鑑賞「魔王」
----	----	-----	--------

## 本時のねらい

音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す表現や雰囲気を感じながら聴くことができる。

## 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・仲間の意見と自分の意見を交流し、照らし合わせながら音楽的要素の発見をする。
- ・楽譜や音源を切り取って聴いたり、繰り返し聴いたりすることができる。
- ・シンキングツールを活用することで、自分の考えをまとめることができる。

## 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・iPad
- ・ロイノート
- ・テレビモニター

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合唱コンクールのクラス曲を歌う。</li> <li>・歌曲「魔王」に登場する人物について復習する。</li> <li>・ロイノートを使って前回の授業の振り返りをする。</li> </ul>	
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の歌詞の音源を聴く。</li> <li>・登場人物による表現の違いや工夫をそれぞれ見つけ、プリントにまとめる。</li> <li>・登場人物ごとに分けたシンキングツールのフィッシュボーン図に、ペアで気づいた登場人物の特徴や音楽的要素をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロイノートのシンキングツールを活用することで、自分の考えをまとめやすくなる。</li> <li>・音源の確認</li> <li>・楽譜の並べ替えや見比べ</li> <li>・意見の整理</li> <li>・生徒間での交流</li> </ul>
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアでまとめたフィッシュボーン図を提出する。</li> <li>・提出された仲間の意見を共有し、登場人物の特徴や音楽的要素について、お互いの気づきを交流する。</li> <li>・振り返りシートを記入する。</li> <li>・1つの歌曲の中で表現者の工夫がたくさんあることを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロイノートに送られた登場人物ごとの音源と楽譜を何度も聴き比べて、じっくりと特徴を見つけることができる。</li> <li>・ペアで話し合ったことをまとめて提出したフィッシュボーン図を画面共有することで、仲間の発見を自分の学びにつなげることができる。</li> </ul>

## 1人1台端末を活用した活動の様子



ロイノートで送られた音源を聞きながら、ワークシートを記入している場面。



ペアでお互いの気づきを出し合い、提出用のシンキングツールに入力している場面。



画面共有された仲間の意見を読み返し、自分のワークシートをまとめている場面。

## 児童生徒の反応や変容

- ・これまで学級全体での鑑賞だった為、自分のペースで聴くことが困難であったが、今回はタブレットに鑑賞の音源を取り込んでいたため、自分の聴きたい部分を何度も聴く事ができ、普段音楽への興味が薄い生徒もタブレットを使って何度も聴いたり、楽譜と照らし合わせながら鑑賞したりできていた。
- ・ペア学習で意見の交流の時間を取り、生徒間で気づいた内容を交流することができていた。振り返りプリントには、目標である音楽的要素の発見がより多くできていた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・興味関心が低い生徒に対しても、タブレットを使うことで興味を持って自分の聴きたい部分の鑑賞ができるなど個別学習ができた。また、ロイノートのシンキングツールを使うことで、より分かりやすく自分の気づきをまとめることができた。
- ・グループやペア学習を取り入れることで、自分自身では発見できなかったことに気づくこともでき、自分とは違った考え方があるということも知り、個々の違いや認め合いにも繋がった。また、最後のまとめでは、作者の意図にも触れる意見が出てきたことは、大きな成果だと思った。